

東地申第44号
2月19日開催

「平成31年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ【松戸車両センター】

【共通】 1. ダイヤ改正までに施工予定の車両改造工事、及び年度末までに施工予定の車両改造工事の詳細な日程を明らかにし、現場へ負担をかけることなく万全な体制でダイヤ改正を迎えること。

ダイヤ改正までに「小田急ホームドア導入に伴う車両改造工事」や「千代田線綾瀬～北綾瀬間 ATO 導入に伴う車両改修工事」を施工する。なお、施工日程については、関係箇所と調整している。

主な議論

(組合) 年度末までに行う改造工事を具体的に明らかにすること。

(会社) WiMAX2 端末の取替え (18 編成)、乗務員室防犯カメラの設置 (2 編成)、駅ナンバリング対応工事である。

(組合) 年度末に工事が集中する。現場に負担をかけることがないように計画すること。

(会社) 年度末に工事が偏るということは認識している。 改造工事が可能な施工両数などを現場と調整してきている。また、改造工事に伴う車取りについても調整が必要であるため、現場と調整していく。

(組合) ダイヤ改正までの改造工事は事前に日程がわかっているはずである。なぜ遅くなるのか明らかにすること。

(会社) メーカーや本社が設計しているが、毎年遅れがちになるという認識はある。 来年度は早期に計画することを本社へ催促し、工事を平準化していく。

(組合) WiMAX2 端末工事について工事通告券がまだであり、工事が完了しないという認識であるが、会社の認識を明らかにすること。

(会社) 改造工事可能な施工両数は現場と調整していく。

確認!

【常磐緩行線】 1. 車両改造工事及び定期入場の際は小田急電鉄の車両を借用することとし、予備編成を必ず1編成確保すること。

常磐緩行線 E233系は検修予備を1編成配置しているが、定期入場時等で運用に供する編成数が不足し車両借用が必要になった場合は、会社間で協議を行うこととなる。なお、各種工事については車両運用を考慮し調整を図っていく考えである。

主な議論

(組合) 3社直通時に小田急から入場予備編成を借用することとした、という考えに変わりはないか?

(会社) そうだ。定期入場は計画されているものなので入場期日前後の回送を含めて借用できるように調整している。

(組合) 現在1編成入場しているが、予備編成がない理由を明らかにすること。

(会社) 車両火災によって車両が不足しているためであり、車両復旧出来次第借用していく。次の入場までには借用できるよう調整中である。

(組合) 車両故障時に運休を出すリスクもある。現に車両故障時に借用できず輸送混乱を招いた。 予備編成がないことで運用に供することができるかの判断を躊躇してしまうリスクもあるが、会社の認識を示すこと。

(会社) 事象については認識しており、リスクがあると認識している。運用可否は車両センターの判断を尊重する。

2. 輸送混乱時、他社と運用色戻しの調整をスムーズに行うために、他社線区内で調整を行う際の他社における以下の条件について具体的に示すこと。また、運用振替票の授受を確実にに行えるようにすること。

①東京メトロ代々木公園・綾瀬検車区、及び小田急電鉄海老名検車区において、翌朝出庫時に調整する際の条件。

②小田急電鉄喜多見検車区において入出庫で調整する際の調整可能な列車間隔と、JRからの要望に対応するための必要な時間。

輸送混乱時の車両運用変更については、運用指令が各会社の司令と調整を行っている。今後も必要な調整は行っていく考えである。

主な議論

(組合) 色戻しの重要性を理解していない指令員がいる。教育を充分に行い、短期間で異動してしまうライフサイクルを見直すこと。

(会社) きちんと認識している。経験が浅い人もいることは事実だ。引き続き教育していく。ライフサイクルについても取り組んでいるところだ。

(組合) 他社における運用色戻しの際の条件を具体的に示すこと。

(会社) 他社における特定の条件はない。他社もJRと考え方は同じだ。

(組合) 3社で実務者間の会議を開くこと。運用振替票について3社で取り決めを行うこと。

(会社) 実現に向けて調整していく。年1回の契約の見直し時に、振替票を取り決めしていくように窓口へ伝える。

確認!

車両品質・輸送品質が低下していないかダイヤ改正以降も検証運動を強化していこう!!